

こもれび

宮城教育大学附属図書館ニュース

119号

2011. 3. 10 発行



表紙写真について

表紙を飾るこの美しい作品は、本学写真部からの提供によるものです。

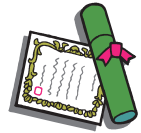
写真展（平成23年1月に宮教大図書館展示ホールで開催）で実際に展示された作品を、「こもれび」のためにコラージュしていただきました。

図書館の舞台裏

○図書館からのインフォメーション	2～5
○特集記事 「図書館の舞台裏」	6～9
○学生の読書室	10～11
○学生の読書室 — 学生選書コーナー編	12～14
○図書館と和算関係資料と私と — 館長退任にあたって —	15
○平成23年度図書館開館カレンダー	16



図書館からのインフォメーション



利用期限が2011年3月31日までの皆さん

(研究生の一部、学部4年生、大学院2年生)へ

利用期限が2011年3月31日の皆さん(研究生の一部、学部4年生、大学院2年生)は、貸出資料の返却期限が3月15日になります。必ず期限内にご返却ください。

* 3月15日以降の貸出も可能です。詳しくはカウンターでお尋ねください。*

♪ ご卒業おめでとうございます ♪

卒業される皆さんに図書館からのお願いです。

お手元に図書館の資料はありませんでしょうか? また、図書館からの督促状などは届いておりませんか? 今一度ご確認ください。

図書館から借りた資料は必ず在学中にご返却下さい。なお、学部4年生・大学院2年生で3月15日以降も資料を延滞されている方には、通常の方法以外での督促も考えております。



図書館利用案内

4月からは、新入生など、宮教大に初めて来られる方が大勢いらっしゃると思います。時間があるけれどどこで過ごして良いかわからない、そんな時には、ぜひ、図書館にいらしてください! そこで、今回は改めて図書館の利用方法についてご案内いたします。

また、図書館では、館員の説明による図書館ツアーや新入生ガイダンス・各種データベースの講習会なども行います。興味のある方は、カウンターにお尋ねください。お待ちしております。

開館時間と休館日

- 通常の開館時間は 月曜日～金曜日 9:00～22:00 土曜日・日曜日 10:00～17:00です。
- 学校休業期間中の開館時間は 月曜日～金曜日 9:00～17:00 です。
- 休館日は 国民の祝日・本学創立記念日(10月18日)・年末年始・入試実施日・本学学位記授与式当日 です。

*なお、臨時に休館する場合は掲示やホームページ等でお知らせします。

利用について

<本学の学生・教職員> 学生証・職員証が図書館の利用カードになっていますので、学生証・職員証をお持ちの方はすぐに利用できます。学生証・職員証のない方は、担当部局で発行を受けるか、「図書館利用申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。「図書館利用証」を発行いたします。



資料の閲覧・貸出

- **館内閲覧** 館内での閲覧は自由です。ただし、閉架書庫利用の際は、1階カウンターに申し出て下さい。
- **貸出** 表紙にバーコードラベルが貼ってある資料はカウンター脇に設置してある「図書自動貸出装置」で借りることができます。こちらを利用すると、カウンターでの手続きが不要になります。または、貸し出しを希望する資料に学生証（図書館利用証）を添えて1階カウンターへ。
- **貸出冊数・期間**

利用 者 別	冊 数	期 間
教職員（非常勤講師を含む）、	20冊まで	1ヶ月
名誉教授、大学院生、学部4年生	10冊まで	1ヶ月
学部1年生～3年生、研究生、 科目等履修生、特別聴講学生、 学外の方	5冊まで	2週間

*学内の方は未製本雑誌の貸出も可能です。（最新号は除きます。）貸出期間は3日です。

資料の返却・罰則・紛失

- **返 却** 返却する図書をカウンターにお持ち下さい。閉館時は図書館正面入口のブックポストに入れて下さい。
※返却が遅れると罰則がつく場合がありますので、ご注意ください。
- **罰 則** ! 返却期限日から1週間を過ぎて返却すると返却が遅れた日数（返却期限日から実際に返却した日までの日数）が貸出停止期間（罰則）となります。最長1ヶ月までです。
- **紛失等**
貸出資料を紛失あるいは甚だしく損傷した場合は、同一資料で弁償して頂きます。

貸出できない資料

* 次の資料は原則として貸出できません。

- ① 貴重資料
- ② 参考図書（辞典、事典、年鑑、白書、ハンドブックなど）
- ③ 視聴覚資料（CD、DVD、LD、ビデオなど）
- ④ 新着雑誌
- ⑤ 教科書・指導書（小学校・中学校・高校で現在使用されているもの）
- ⑥ 修士論文・点字図書などの特殊資料

貸出期間の延長・予約・リクエスト

- **貸出期間の延長** 貸出中の資料を引続き利用したい場合は、予約者がいない場合に限り貸出期間の延長ができます。学内の方はwebでも延長手続きが可能です。当該資料をご持参のうえ、「図書自動貸出装置」または、カウンターで手続きをする事もできます。
- **予約** 利用したい資料が貸出中の場合は、貸出予約ができます。予約した資料が返却され次第、メール等でお知らせします。
※貸出期間の延長や貸出予約はWeb上の図書館サービス「マイライブラリ」からも行えます。
*マイライブラリが利用できるのは学内の方だけです。



図書館からのインフォメーション

- **リクエスト** 本学の学生や院生の方は、利用したい資料が学内にない場合に、購入の希望を出すこともできます。詳細はカウンターにお尋ねください。
※担当者が選定の上、購入を決定いたします。

資料の探し方

- **本学にある図書や雑誌の検索**
蔵書検索（OPAC）・・・本学で所蔵している図書や雑誌、AV資料をWeb上で検索することができます。本学のどこにあるのか、現在、貸出中かどうかを確認できます。また、本学で利用可能な電子ジャーナルも検索できます。OPACは図書館のホームページやWeb上の図書館サービス「マイブラリ」から利用できます。
館内には蔵書検索(OPAC)専用端末を1F閲覧室に3台、2F閲覧室に2台設置しています。
- **その他の資料の検索**
 - ◎他機関の図書や雑誌を探す→◆NACSISWebcatや◆NDL-OPAC等が利用できます。
 - ◎雑誌論文・雑誌記事を探す→◆雑誌記事索引や◆CiNii（サイニイ）が利用できます。
 - ◎新聞記事を探す→◇朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」や◇河北新報データベース「KD」等が利用できます。
 - ◎電子版の辞書・事典類を調べる場合→◇ジャパンナレッジや◇理科年表プレミアムが利用できます。

※すべて図書館ホームページから利用できます。

◆印のデータベースは無料公開されており、学外から利用が可能です。

◇印のデータベースは本学で契約しており、学内のパソコンからの利用となります。また、利用できるのは本学構成員のみです。

このほかにも便利なデータベースがありますので、図書館ホームページ
URL：<http://www.lib.miyakyo-u.ac.jp/library/home.html> を活用してください。
- **講習会**
図書館ではデータベースの使い方など資料の探し方に関する講習会を行います。ご希望に応じた内容の講習会を開くことができます。お気軽にカウンターでご相談ください。

マイブラリ

***マイブラリが利用できるのは学内の方だけです。**

- **マイブラリ とは？**
Web上の図書館サービスです。自分が図書館から借りている資料の確認・貸出期間の延長、貸出中の資料の予約、本学にない資料の取り寄せ（文献複写・現物貸借）の申込みがWeb上で行えます。学内からだけでなく、インターネットの使える環境であれば、いつでもどこでも利用が可能です。
- **サービス内容**
 - ・借用中の資料のタイトルや返却期限の確認、貸出期間の延長ができます。
 - ・貸出中の資料の予約ができます。
 - ・条件を指定して登録しておく、該当の新着資料が入った時に通知を受けることもできます。
 - ・文献複写や現物貸借の申込みができます。
 - ・検索結果のブックマーク機能を使って、検索結果のメール送信、ファイル出力、フォルダへの保存などができます。
- **利用方法**
図書館のホームページまたはOPACからアクセスしてください。利用の際にはIDとパスワードが必要です。ID・パスワードは情報処理センターの端末を利用する際のもので、図書館のホームページにも詳しい利用方法を掲載しています。



施設・設備

- **コピー機**
セルフサービスのコイン式複写機を1階に2台、2階に1台設置しています。利用者が調査研究を目的として私的に利用する場合に限り、資料の一部分を複写することができます。掲示してある使用上の注意事項を熟読の上、所定の申込用紙に必要事項を記入して、利用してください。
- **無線LAN**
閲覧席では無線LANが利用できます。ノートパソコンを持ち込んで利用することができます。利用にはID・パスワード（情報処理センターの端末を利用する際のもの）が必要です。
- **学内LAN端末**
2階のマルチメディア室に24台の学内LAN端末を設置しています。情報検索、インターネット、WordやExcel等が利用できます。利用にはID・パスワード（情報処理センターの端末を利用する際のもの）が必要です。
- **ロッカー**
利用は当日限りです。必ず施錠して下さい。貴重品は入れないで下さい。
- **展示コーナー**
研究作品の展示に利用できます。利用の一週間前までにカウンターで申し込みをして下さい。
- **リフレッシュコーナー**
ソファ・テーブル、カップ式の自販機があり、飲食が可能です。
※閲覧室への持ち込みはご遠慮ください。
- **多目的閲覧室**
自習室として開放しています。閲覧室としての利用の他、事前予約により、研修やゼミなどで利用することもできます。利用の一週間前までにカウンターで申し込みをして下さい。
※事前予約により利用している時は他の方が利用できないことがあります。
- **視聴覚ブース（8台）**
DVD、CD、ビデオなどの視聴ができます。利用の際の申込みは不要です。
- **ブックポスト**
正面玄関右脇に設置してあります。図書館が閉館している際の資料返却に利用して下さい。

特色のある資料

- **和漢書**
本学の蔵書の中には和漢書古典約4千点1万冊があり、その中には仙台藩最初の公共図書館として有名な青柳館文庫の蔵書も含まれています。
- **教科書**
教科書については明治から現在使用されているものまで継続して収集しています。
- **児童図書**
大学図書館としてはユニークな蔵書である児童図書（児童文学・絵本・紙芝居など）を約1万冊所蔵しています。

特集記事

図書館の舞台裏

「図書館は本を並べているところ。」「図書館職員の仕事は本の貸出と返却。」
そういった印象の方も多いでしょう。
実は、それ以外にもさまざまな仕事があります。
今回はその一端を紹介しましょう。

本が図書館に並ぶまで

図書館に置く本を選ぶ

「選書」といいます。

誰がどう選ぶか？

先生からの推薦
学生さんからの購入希望
図書館職員の判断
などで、どの本を買うか選びます

選んだ本を注文し、 納品されたら代金支払

「受入」といいます。

注文・納品・支払の管理は？

注文する図書のデータは図書館システムに入力され、システム上で管理されます。
入力されたデータは、発注・納品・支払データとして使われるだけでなく、この後の「登録」作業の基礎データとなります。

本のデータを作成

「登録」といいます

本の著者・タイトル・出版社、図書館のどこに置かれるかなどのデータが図書館システムに入力されます。

何のために登録するの？

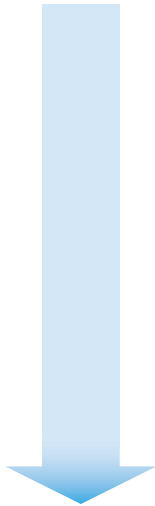
- 1) 本の検索ができるようにするため
本の検索して表示されるデータが、この登録されたデータです。
- 2) 資産管理のため
本は、大学の大切な財産（資産）となります。この登録作業は、資産登録の意味合いもあります。



登録待ちの本

本にラベルなどを貼ります。

「装備」といいます。



本を書架に並べます。

「配架」といいます。

装備の目的

- 1) 図書館の本、宮教大の本（資産）であることを示すため
- 2) 盗難、紛失防止
- 3) 本の管理
本に貼られたバーコードで、貸出中など、本の状態を知ることができます。背に貼られた請求記号ラベルで、本を書架のどこに戻せばよいかわかります。



バーコードラベル



請求記号ラベル

本の並べ方は決まってる？

- 1) 資料の種類によって決まっています
本なら図書館の1～2階の閲覧室
雑誌なら2階
DVDやCDなら1階奥
- 2) 請求記号順に並んでいます
同じ種類の中では、背に貼ってある請求記号の順番に、左から右へと並べるのがルールです。



本以外のものをそろえています

雑誌・新聞

電子ジャーナル

図書館で選定・
契約・支払・管理

データベース CiNiiなど

映像・音楽資料（CD、DVD）

特集記事

図書館同士の協力

教職員や学生のみなさんに必要な資料すべてを、宮教大図書館で揃えることはなかなか難しいことです。

そこで、各大学の図書館同士で、お互いに資料を貸し借りしたり、コピーを取り寄せ合ったりしています。

利用者から資料やコピー取り寄せのリクエスト

『外国雑誌』 Vol.26 p.5
からの論文が読みたい。



図書館では、他大学図書館へコピーを送ってくれるよう依頼します。

『外国語雑誌』 Vol.26
p.5～からの論文のコ
ピーがほしい

他大学図書館へ依頼する仕組み

宮教大図書館



依頼情報



NACSIS-ILL

NACSIS-ILLは、国立情報学研究所が作る図書館同士の
相互協力の仕組みです。

依頼情報



A大学図書館

『外国語雑誌』は今貸出中
なのでコピーできない

依頼情報



B大学図書館

うちはコピーして
あげられるよ。

B大図書館からコピー
が郵送される



資料の保存

図書館は、資料を後世に伝えることも仕事です。

宮教大図書館には、「貴重資料室」があり、古い資料が保管されています。

貴重資料室の中では、江戸時代から昭和初期までの資料5千冊以上が保存されています。

主な貴重書

『仙台藩御屋形様御入部行列絵図』

『実語教童子教』などの仙台版往来物



貴重資料室の様子

図書館システム

図書館業務の多くは、「図書館システム」が介在することで成り立っています。

図書館システムは、各種サーバ・業務端末・OPAC端末（図書館の検索用パソコン）などで構成されています。

図書館システムが管理・制御している図書館業務の例



図書館システムサーバ

蔵書検索

相互協力

支払情報

図書や雑誌の
受入・登録

統計

貸出・返却・予約
(自動貸出装置も)

資産管理

その他の図書館の仕事

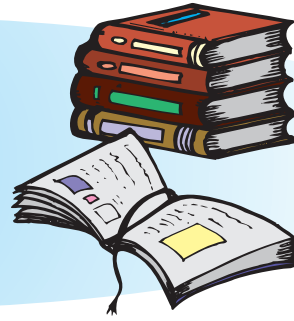
教科書展の立案・実施

読書推進プロジェクトなどの立案・推進

教職員からの図書発注への対応

・・・など。

第14回 学生の読書室 ～私が選ぶこの一冊～



『オレンジガール』

(ヨースタイン・ゴルデル著、猪苗代英徳訳、2003年 NHK出版)

初等教育教員養成課程音楽コース2年：千葉久美

皆さんは、「宇宙っていつからあるんだろう?」「地球って消滅しちゃうの?」「宇宙も消滅しちゃうの?」そう考えたことはありませんか?「自分はいつか死んじゃうんだ」「死んだらあの世はあるの?」「無いとしたらどうなるの?」そう考えて、怖くて泣いたことはありませんか?

この小説は、宇宙のことや、死生観についてよく考えてしまう人に、是非読んでもらいたい作品です。作者はこの本の中で、ある重要な問いかけをしています。「まだ生まれる前の自分が、地球に生まれるか生まれないかを選ぶとしたらどうする?」

この世に生まれる、ということは、いつか死ぬ、ということです。生まれることを選択することは、生きてきた中で手に入れた大切なもの、大切な人、大切な思い出、全てを「死」によって失う、ということでもあります。それでも、生きることを選ぶのか、それとも、大切なものを手に入れる前に、生まれることすらやめてしまうのか。

もちろん、もう私たちは生きています。これからの人生をどう生きるか。この本を読んで、人生について深く考えてみてはいかがでしょうか?



『地球に生きる人間 ～その歩みと現在～』

(大塚柳太郎、
小峰書店、2004年)

初等教育教員養成課程
音楽コース1年：
山田絵理華



人間はどこから来たのでしょうか?

この本には、アフリカを出発した人間がオセアニアやアメリカに渡り、文化を育みながらこの広い地球を巡る流れが書かれています。世界には言葉や文字や、皮膚の色や、生活文化が異なる人々がありますが、人間はみんなアフリカに誕生したのです。その不思議で神秘的な人間の生きてきた過程を、図や写真を用いて分かりやすく説明してくれています。

しかし人間が発展していくなかで、あらゆる問題も生じてきています。それは私達が便利な生活をする中で発生した物質によって公害が発生したり、オゾンホールが破壊されて地球温暖化が進行してしまうといった問題です。人間は、地球に生きるすべての人々、後から生まれてくる人々の事も考えて、地球環境と調和することに目を向ける必要があるということを考えさせられます。

この本は地球に生きる人間のルーツを楽しく知ることができ、また今までとは違った視点から人間と地球について考えさせられます。少子高齢化、地球温暖化による砂漠化や酸性雨などに直面している今こそ、改めて今までの私達人間について理解して、かけがえない地球を見直すきっかけとしておすすめの一冊です。

『アーモンド入り チョコレートのワルツ』

(森絵都、角川出版、2005年)

中等教育教員養成課程
音楽教育専攻2年：
安藤マリ



夏休み。恭、智明、ナス、じゃがまるの従兄弟たちは、今年も章くんの別荘に集まった。5年前から続いている、いつも通りの夏休みの2週間だったはずが、恭のふとした一言で徐々に歯車は狂っていく。「王様は裸だ」とさけんなのは、小さな子供だった。(中略)王様はそのとき、どんな気がしただろう? 憎いのは小さな子供じゃない。それまで王様をだまして偽者のおせじをふりまいていた連中だったと思う。」(「子供は眠る」より)

不眠症の男子中学生と風変わりな女子中学生が出会った旧校舎の音楽室を舞台に、彼らの間に漂うほろ苦い匂いをゴールドベルグ変奏曲が静かに見守る「彼女のアリア」や、奈緒と君絵が絹子先生やサティのおじさんと共に過ごした夢のような時間を描いた、表題作「アーモンド入りチョコレートのワルツ」を含む3編の小品に、自分が大人になりきってしまう前に出会えたのは、本当に幸運だったと思う。

著者の文章は優しい。そして時々とても残酷だ。今すぐにも目の前に現れそうな等身大の中学生を描いたこれらの小品には、作品が年月を経ても、そして読み手が年齢を重ねても、決して失われることのない「今」が詰まっている。

『変身』

(フランク・カフカ著、角川文庫、2008年)

中等教育教員養成課程理科教育専攻1年：林 卓 人

まったく同じ物語でも、読む年齢や心境によって解釈が異なることは読書の醍醐味のひとつと言える。

カフカの「変身」をぜひ読んでほしい。それも一度だけではなく、何度も。物語の内容は、ある日から突然毒虫になってしまった主人公ザムザは、家族や隣人の自分への対応の変化に戸惑いながら死んでゆくというものである。

私は小学生の時にこの物語のある訳に出会い、単なる奇怪なファンタジーとして受け止めた。中学生の時には、ザムザの境遇の悲惨さから、当時学級内で蔓延していた卑劣な噂話の対象となっていたクラスメイトが連想され、いわゆるいじめ行為、またそれを見ぬふりをしている自分の愚かさを痛感した。他人と比べて自分は劣っていると感じた高校生の時は、自分に突如訪れた理不尽な現実に応えることなく家族を思い続けるザムザに勇気もらった。そして入試やアルバイトを経験した現在では、もちろんまた違った思いを抱いている。

あなたはこの奇妙な100ページから何を感じるだろうか。カフカはこの物語を通して我々に何を訴えたかったのだろうか。

最後に、今の私はどうしても「あなたは今のあなただからこそ、そこにいる意味があるのです」とカフカが語りかけているように思えてならない、という個人的な解釈を提示して、紹介を終わろうと思う。



『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』

(ロバート・フルガム、池 央耿訳、河出書房新社、1990年)

初等教育教員養成課程
子ども文化コース1年：
高 橋 勇 気



本書は自称「素人哲学者」のフルガム氏が日常の何気ないことについて考えていることをまとめたエッセイ集である。表題作を始め、独自の視点で人間はどう生きるか、どんな気持ちで日々を暮らせばよいのかユニークに書かれている。

私が一番気に入っているのは「あたしは人魚」という話だ。筆者が大勢の子どもたちを相手に、「大男・魔法使い・小人」というジャンケンのようなゲームを行った。ゲームのタイトル通り子どもたちが三つの役に割り振られるのだが、ある少女が「人魚はどこへ行くの？」と聞いてきた。人魚の役はないと説得しても少女は譲らず、自分のあり方に妥協しなかった。ここで筆者は「常識の枠におさまらず、既成の価値観に従いきれない人魚たちはどこへ行けばいいのか？」と読み手に問いかける。

日常の中で私たちは、多くのことを「ささいなこと」と見なしてしまいがちだ。そんな「ささいなこと」が持つ魅力、奥深さを本書から感じ取ってほしい。

『自分探しが止まらない』

(速水建朗、ソフトバンク新書、2008年)

初等教育教員養成課程
子ども文化コース1年：
井 上 敬士郎



「自分探し」という言葉はかつて三十路を間近に控えたOLが突然に海外留学などするようなケース、あるいは若者が大人になるのを先延ばししようとすることを揶揄するネガティブなニュアンスを持って使われることが多かった。しかし、昨今では若者が「自己実現」や「自分らしさ」を求めようとするためのポジティブな行為としても受け入れられている。本書はこのような変化が生じてきた理由を日本の社会、教育の面から探ること、そして「自分探し」ととらわれるあまり、自己啓発セミナーや海外放浪などのポジティブ・シンキングに逃避する若者とそれを商売にする者がいることの批判を中心に話が進められている。

本書からは現在の若者像を客観的に見ることができ、日本が「自分探し」を強いている社会であることも気づくことができる。そのため本書を読んだ後には冷静に自己を見つめることができる。「自分らしさ」ということについて悩んでいる人に一度は読んでいただきたい。

【原稿を募集します】

ここは学生のみなさんにお薦めの本を紹介してもらうコーナーです。みなさんからの投稿をお待ちしています。以下の必要事項を記入の上、いずれかの提出方法をお選びください。

■必要事項

- ・専攻・学年・お名前・連絡先
- ・紹介したい本のタイトルとその著者名・出版社
- ・紹介文（400字程度）

■提出方法

- ・メールの場合は toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp まで
- ・USB等の場合は 図書館カウンターへ

■注意事項

- ・こもれび次号は7月発行です。
- ・原稿はこもれび編集委員会で選定の上、掲載します。
- ・採用された原稿は図書館ホームページにも掲載されます。
- ・学生の読書室で紹介された本は、図書館の「学生の読書室」コーナーに並べられます。

学生の読書室 ～学生選書コーナー編～



図書館に入っすぐ、階段のそばに設けられた「学生選書コーナー」をご存知ですか？学生さん自身に選んでもらった本を置いているコーナーです。

「こんな本が図書館にあったらいいな」というみなさんの気持ちにぴったりの本が多く、多くの学生さんに利用されています。

今回、「学生選書コーナー」に置く本を選んでくれた大学院生8名の方に、自分の選んだ本の紹介をしていただきました。

『障害児心理学ものがたり 小さな秩序系の記録 II』

(中野尚彦著、明石書店、2009年9月)

特別支援教育専攻特別支援教育専修1年：宇治川 雄也

私は、中野尚彦先生の『障害児心理学ものがたり 小さな秩序系の記録 II』を選書させて頂きました。著者の中野先生は、長年に渡り群馬大学で障害児教育に携わり、現在においても明和学園短期大学で、実践を続けられています。

この本には、中野先生ご自身が、係わり合いの中で、子どもさんの行動に向き合い、どのように行動を読み取り、意味づけ、その妥当性を絶えず繰り返し検証しながら、如何に生命活動を輔けるかということを考えて、実践されたことが描かれています。

前作の『障害児心理学ものがたり 小さな秩序系の記録 I』の中で、中野先生は、「実践研究とは個の体験の確定法である。特定既存の仮説に従った実行は実践研究ではないのだと思う。こどもの個の体験事実を自身の体験事実として共有し、現象するその事実を確定する、実践研究とはそのようなことだと思う。」と述べています。

最近では、既定のプログラムを子どもにあてはめようとする学習や指導が広がっていますが、本来の教育の出発点は、目の前の子どもさんと向き合うことであり、そのことを一番大切にしなければならないことであると考えます。

もう一度自らの実践を問い直す、そのことを中野先生の実践記録から考えさせられる一冊です。



『日本の国という水槽の水の入れ替え方：憂国の随想集』

(岡 潔著、成甲書房、2004年4月)

教科教育専攻数学教育専修1年：加藤 修平

第二次大戦後、日本は物凄いスピードで復興し、以前にもまして便利な世の中へと変貌を遂げた。各家庭には年々高性能な電化製品が増え、現在では時間や場所を気にすることなく、誰とでも通信ができるようになった。世界の合理化はとどまることを知らない。

ではその恩恵を受けている人々は皆一様にして幸福かといえば、必ずしもそうではない。どんなに生活が豊かになっても、心の貧しさが元凶となった悲しい事件が後を絶たないではないか。非常にゆゆしき事態である。

そんな中この本の著者である岡潔は、日本社会が抱えている、なかならず教育や心の問題に対して、なんと半世紀も前から警鐘を鳴らし続けてきた。

『日本民族の滅亡だけは何としてでも喰い止めたいと思う』

現代を生きる我々に岡が伝えたいこと、失ってはならない日本人の情緒とは何なのか…。近代日本が生んだ世界的な数学者（著者紹介文より）の視点で鋭く描かれた彼の思想に、今更ながら、我々は真剣に向き合うべきではないかと考えさせられる。



『光の帝国：常野物語』

(恩田陸著、集英社、1997年10月)

教科教育専攻理科教育専修1年：荒川 美 緒

「光の帝国」、私がこの本に出会ったのは、中学生の時でした。帯には、“ノスタルジー”の文字。恥ずかしいことに当時の私は、ノスタルジーの意味もわからず、「光の帝国」という幻想的なイメージから勝手に「ファンタジーのようなものかな」と勘違いをしていました。しかし、この本を読み進めていくと、不思議で優しい独特の世界観、どこか懐かしい郷愁感、そしてファンタジーの印象は全く間違っていなかった、そう感じた本でした。

常野という不思議な能力を持った一族の短編集になっていて、その人々の生活の穏やかな喜びや悲しみをのぞき見ているような物語です。また、短編に登場する人物はどこかで繋がっていて、深読みしながら読めるのも魅力の一つです。そして、嬉しいことに、舞台や会話には、宮城の場所や地名が登場します。著者が宮城出身であることから、宮城にゆかりのある一冊です。



『5分でたのしむ数学50話』

(エアハルト・ペーレンツ著、鈴木直訳、岩波書店、2007年12月)

『続5分でたのしむ数学50話』

(エアハルト・ペーレンツ著、鈴木直訳、岩波書店、2008年10月)

教科教育専攻数学教育専修2年：守山 聡 美

数学、好きですか？この2冊は数学が好きな人だけでなく、数学が嫌いな人にも、楽しんでいただけたと思います。

この2冊は、ドイツの新聞で『5分間数学』という名で全100回連載された人気コラムを50話ずつ本にしたものです。

新聞のコラムとして書かれていたものが本になっているので、どの話も一話完結で自分の興味のある話から読むことができます。また、扱われている数学も、日本の高校数学や大学の1・2年で扱われているものがほとんどなので、読みやすいです。

日常の中に隠れている数学や、自然科学、経済、音楽等と数学がどう関連しているのかを取り上げたこの本を通して、数学の面白味を少しでも味わって頂けたらと願っています。

高校で無味乾燥にしか思えなかったあの公式が発展していくと…！といった驚きに出会えるかもしれません。



『ベッドルームで群論を』

(ブライアン・ヘイズ著、富永星訳、みすず書房、2010年9月)

先日、いくら羊の数を数えても眠れそうになかったわたしは、とうとうマットレスの返し方を数えはじめた…

そんな出だしからこの本は始まります。この本はふとしたことから思い浮かぶ疑問を数学的、科学的に解こうとした話をまとめたものです。

数学関係の本というと著者は数学者だ、とお思いでしょう。ですが、この本の著者は数学者ではありません。著者は大学という名の文系と理系の分かれ道で文系の道に進みます。大学卒業後に科学雑誌の編集職につき、その傍らで科学を自学自習、現在は数学やコンピュータに関する記事を執筆しているという、すごい人です。

この本の中で語られている問題へのアプローチ、文献の当たり方など研究の過程は研究する姿勢として参考にもなります。

数学や科学についての問題に対して、数学的思考でアプローチした12のお話。

理工学系、もちろん数学に興味関心のある学部生・院生の皆さん、この楽しさ面白さを、ぜひ。



『おくりものはナンニモナイ』

(パトリック・マクドネル著、
谷川俊太郎訳、あすなろ書房、2005年10月)

教科教育専攻
美術教育専修2年：
秋 場 雅 子



誰でも家族や友達など大切な人に、どんなプレゼントを贈ろうか悩んだことがあるだろう。この本の主人公ムーチもそんな一人（一匹？）である。しかも友達のアールは何でも持っている。

ムーチは考えた末に思いついた。「そうだ、アールには、ナンニモナイをあげればいいんだ。」ムーチはナンニモナイを探しに出かけることにした。

ナンニモナイはどこにあるのだろうか？読み進めていくうちに、いつの間にかこの世界に引き込まれてムーチと一緒にナンニモナイを探していることに気づく。軽快なペンタッチと淡い赤で描かれた絵からは、登場人物の生き生きとした心や体の動きが伝わってくる。想像力をかきたてるシンプルな文章も心地良い。

ムーチはアールにナンニモナイを無事贈ることができるのだろうか？ぜひ読んでその結末を確かめてほしい。多くのモノや情報が溢れ返っている今、何が大事なのかを考えさせられる。心温まるラストは必見である。

『新13歳のハローワーク』

(村上龍著、はまのゆか絵、
幻冬舎、税込価格2,730円)

教科教育専攻
生活系教育専修2年：
沼 澤 陽 介



本書の名前を聞いたことがある人は多いと思います。2003年に出版され話題になった『13歳のハローワーク』の改訂版で、旧版から7年が経ち、新しい職業が増え、仕事を取り巻く社会状況が大きく変わっていることから昨年刊行されたものです。

本書は「職業図鑑」です。旧版は「旅行が好き」や「人の役に立つのが好き」というように、子どもたちの好きなものに合わせた表現で様々な職業が区分されていました。一方新版では「国語が好き」といったように「好き」の入り口が教科別に変更されています。本書の特に良いと感じる点は、「好き」の入り口を教科のみでなく「休み時間が好き」や「何も好きじゃない」といったような子どもたちに向けた区分も設けている点です。

昨今の教育界では「キャリア教育」がキーワードの一つとなっています。将来教育現場に出て自身が児童生徒を導く立場になった際、子どもたちに職業観を身に付けてもらうためにとても役立つ本であると思います。

『重症児の授業づくり』

(三木裕和・原田文孝著、
クリエイツかもがわ、2009年)

特別支援教育専攻
特別支援教育専修1年：
藤 原 結 香



この本には、障害が重いといわれる子どもたちとかわり合う先生の授業づくりの実践が描かれています。この本に出てくる先生方は、授業づくりにおいて「子どもの心に迫る」ということに主眼を置き、生活の多くを受け身になりがちである彼らが主体性をもって活動に取り組めるような工夫をしながら実践されています。そして、活動自体の創意工夫もさることながら、その前提として子どもと先生との関係づくりを重要視している点にとても共感を覚えました。

本の中に登場する子どもたちの表情や、先生方の教育実践から改めて学ぶことや心が揺さぶられることも多く、特別支援教育という枠を超えて子どもとかわる際のキーワードがたくさん詰まっている一冊です。

『ジブリの森へ 高畑勲・宮崎駿を読む』[増補版]

(米村みゆき編、森話社、2008年)

教科教育専攻
数学教育専修1年：
齋 藤 由 貴



皆さんはジブリアニメを見たことがありますか。見たことはなくても、「となりのトトロ」「もののけ姫」など、作品の名前は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。私はジブリアニメが大好きなのですが、同じアニメを、少し視点を変えて観ることでこれまでとは違った印象や発見があるのではないかと思います。選書しました。

この本では、「となりのトトロ」をはじめ「未来少年コナン」から「ハウルの動く城」までのジブリアニメを読み解く色々な視点を教えてくれます。その中でも、トトロは死神という都市伝説をきっかけにして『トトロ』の魅力を探っていく、「第7章『となりのトトロ』はちょっとだけこわい」はとても読みやすいと思います。「第5章境界者たちの行方」では私が「もののけ姫」を見て理解しきれなかったことが読み解かれていて、個人的に興味深い章でした。

ジブリアニメを見たことがある人もない人も楽しみな読み物です。ぜひ読んでみてください。

図書館と和算関係資料と私と

— 館長退任にあたって —

附属図書館長 萬 伸 介

本附属図書館では平成17年度より企画展「歴史のなかの教科書」を開催しております。平成18年度は「歴史のなかの教科書～算術・算数と数学～」が開催され、私はその開催の責任者として関わりをもちました。附属図書館には宮城師範学校等から引き継いだ書籍資料があり、その中には「和算書」も含まれておりましたので、是非この機会にこれらの和算書を展示したいものと思いました。宮城県・仙台市に関わるものとして、「九数百好」、「新板ちんこうき（塵劫記）」、「算法新書」などの書を展示することができました。展示会の詳しい内容については、附属図書館ホームページ「企画展」のところをクリックしてください。

私が和算に興味を持ったのは山形大学入学後、下宿の前の小白川神社で算額を見たのがきっかけだと思います。内容は記憶ありませんが、深い緑色が鮮やかに見えたことは憶えております。直ぐに平山諦「和算の歴史」（至文堂、1961年）を購入して読んだものでした。現在、その書籍は文庫本で購入可能で1000円です。昭和40年（1965年）頃に購入したときは定価320円でしたから日本経済の変化が実感できます。その後の私は、和算には興味を持ち続けていましたが、数学（特に幾何学）の勉強そして研究・教育に時間をかけるようになりました。

平成18年度の展示会を契機に、私は和算の「算数」・「数学」への教材化を強く意識するようになりました。平成22年6月に気仙沼市図書館で本学附属図書館所蔵の数学関係の教科書展示会があり、平成18年度の教科書展に関わった私が講演をすることになりました。その機会に、私は気仙沼市本町の観音寺にある算額を調査することができました。そして学内の他講座と学外の方々の協力により引き続き調査作業を進めております。観音寺の算額は文政5年（1822年）に奉納されたもので、宮城県に現存する算額では二番目に古いものです。八巻寿亮「宮城の和算」（けやきの街、1985年）にこの算額が紹介されています。この算額は大変特徴的で、「規矩術（きくじゅつ）」に関わる内容が取り扱われており、通常の算額の形式をとっておりません。「規矩術」は「さしがねつかい」とも言われ、大工さんが「曲尺（かねしゃく）」を使って木材を加工する方法に関わるものです。私は図書館の1階電動書庫から「新版 実用 規矩術（さしがねつかい）」や「江戸科学古典叢書16 隅矩雛形 矩術新書」などを借り出して規矩術について調べました。「宮城の和算」の観音寺算額の記述等の修正を要するところなどが見つかりましたが、必要な情報を得ることができない部分もあります。私は図書館を利用しながら調査を続けようと思っています。そして、この調査の過程で、算数・数学に関わる教材のアイディアを得られるならば、それは私にとって大変幸いなことです。

館長退任にあたり、附属図書館との関わり的一端を書きとどめた次第です。



観音寺算額（観音寺のご厚意で萬が2010年6月撮影したもの）

平成23年度 図書館開館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

* 8月20日から9月末日までの土・日曜日は特別開館(含教育実習期間)を行います。
* 8月中旬の大学一斉休業時には閉館します。日程が決まり次第お知らせします。

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館 9:00~22:00

月曜日~金曜日 9:00~22:00

開館 10:00~17:00

土曜日・日曜日 10:00~17:00

開館 9:00~17:00

月曜日~金曜日 9:00~17:00

休館日

国民の祝日・本学創立記念日(10/18)・年末年始・本学学位記授与式当日・入試実施日

注1:平成24年1月14日~15日は大学入試センター試験のため休館します。

注2:平成24年3月12日は後期日程試験のため休館します。

注3:その他の臨時休館または開館時間を変更する場合は、その都度掲示等によりお知らせします。

編集委員

附属図書館運営委員

遠藤

仁(国語教育講座)

小塩さとみ(音楽教育講座)